

令和5年度 人的資本経営支援事業 第3回研究会(ワークショップ)レポート

新人交換研修を通じた社外人材との学びあい ～中小企業における越境学習の実践と可能性～

出席率
満足度
ともに
100%!

◆日時:令和6年2月28日(水) 13:30～16:30

◆場所:東京都中小企業振興公社 秋葉原庁舎3階

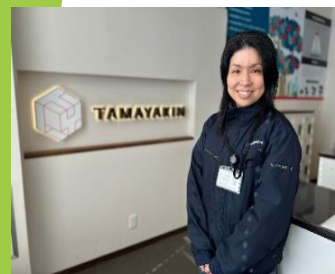
【第1部 事例企業講演と対談】



講師:株式会社ナガセ 代表取締役社長 長瀬 雄一郎 氏

【講師の声】

『“和” 人脈づくり 人づくり そして評判づくり』を理念に、個性を生かした調和を意識し、経営に取り組むことを大切にしています。
『手業の最後の砦になる』をビジョンに、ナガセの誇るべき技術の若い世代への継承や、働く人の豊かさを追求しています。



講師:多摩冶金株式会社 総務グループ長 平岡 恵美子 氏

【講師の声】

『「100年企業」を目指して人材磨きと未来人材の確保』を人事理念に、『「内定」はゴールではなく「始まり」』と考え、将来を見据えた価値観を重視した採用を行っています。
中小企業だからこそ、それぞれの社員の強みや特徴をしっかり把握し、個別に柔軟に育成できると考えています。

【第2部 ワークショップ】



テーマ「自社で交換研修に
取り組む際の可能性と課題」

～11社の皆様
ご参加頂きました～



【参加者の声】

- ・新しい研修手法について、大変勉強になりました。
- ・組織だった活動(交換研修で自主性を養う等)が必要と感じました。
- ・自走する仕組み作りの必要性など多くの学びと気づきがありました。

～ プログラム ～

<第1部> Part1 事例企業講演

両社の経営理念や人的資本経営につながる人材育成の重要性、研修やOJTの取組み等について、実践的かつ貴重なお話を聞くことができました。

Part2 対談(事例企業インタビュー)

両社で継続実施している「新人交換研修」を通じて、越境で学び合うことが身近に感じられる先進事例を共有頂きました。導入の経緯をはじめ、社内コミュニケーションの活性化につながる効果など、具体的なエピソードを交えた貴重なセッションとなりました。(インタビュアー:人的資本経営コーディネータ 清水 秀城 氏)

<第2部> グループワーク

参加者が3グループに分かれて「自社で交換研修に取り組む際の可能性と課題」をテーマに膝を突き合わせた座談会を行いました。経営層や担当者など、様々な視点で抱える悩みや課題を開示しながら他社と活発に意見交換を行った後、出席者全員から一言コメントを発表する流れで、学びのシェアを行いました。

